

経営比較分析表（平成30年度決算）

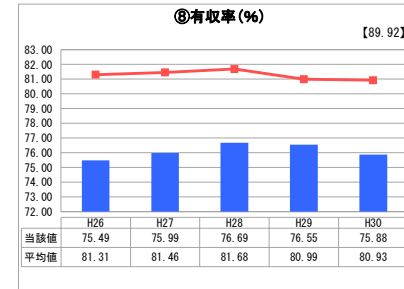
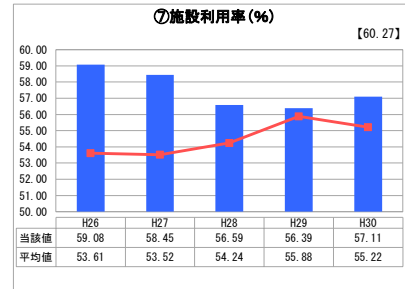
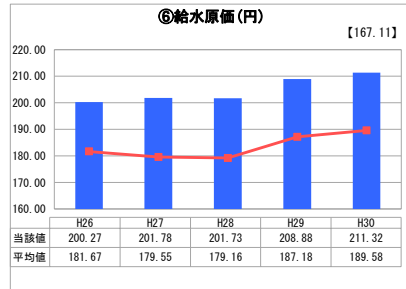
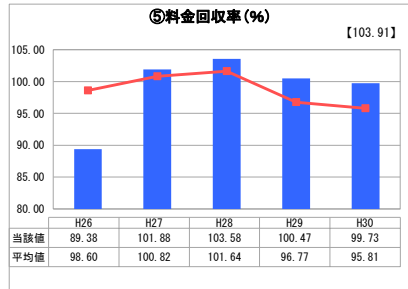
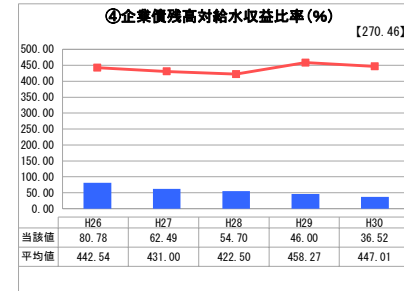
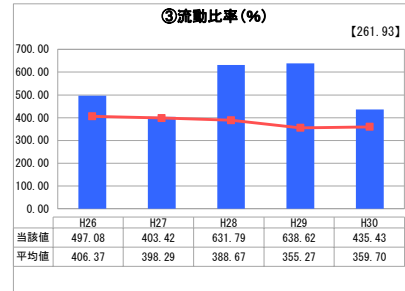
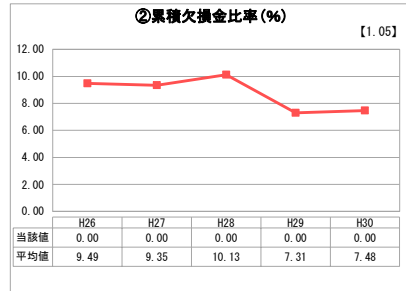
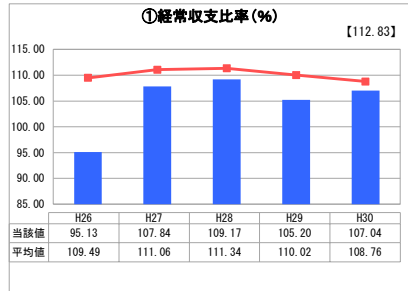
埼玉県 越生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客産料金(円)	
-	90.94	99.87	3,402	

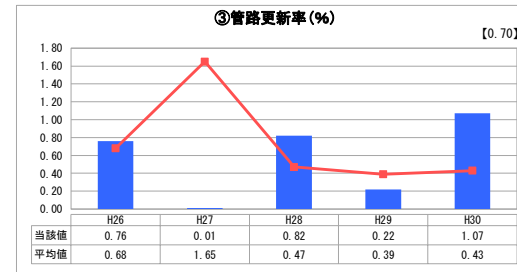
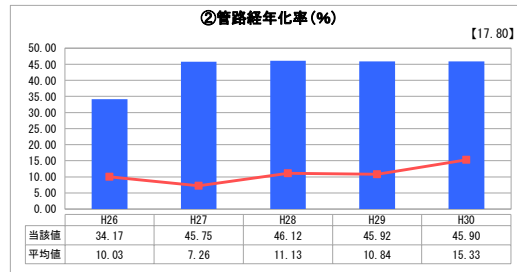
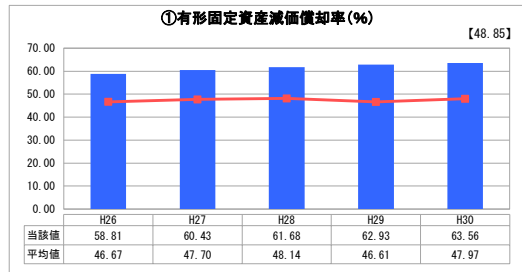
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,644	40.39	288.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
11,709	16.62	704.51

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100を超えており類似団体とほぼ同じ割合となっております。累積欠損比率については、平成26年度からとなっております。流動比率は、前年に比べ減少したものの、依然100%を遙かに超えた値となっております。企業債務高対給水収益比率は、必要な更新が先送りの状況であり、償還のみで減少しています。料金回収率は、100%を割ってしまいましたが、今後更に費用削減に努めます。給水原価は、増加傾向が続いており、類似団体と比較しても高い値となっております。施設利用率は、給水人口の減少により、減少傾向が続いておりましたが、若干の増加となりました。有収率につきましては、依然類似団体と比較しても低い値となっており、漏水調査を重点的に進め、有収率の向上に努める考えであります。

2. 老朽化の状況について

昨年に引き続き有形固定資産減価償却率及び管路経年化率が類似団体の平均より高く、特に管路経年化率は45%を超えております。管路更新率は、平成30年度は増加しました。老朽化対策として、平成30年度にアセットマネジメントを行い、これを基に令和元年度に経営戦略を策定する予定です。この更新計画に基づき、老朽化対策を早急かつ効率的に実施します。

全体総括

水道事業収益の根幹を成す給水収益は、人口減少に伴い年々減少していくことが予想されます。これに対する支出については、浄水方法等を含めた根本的な運営の見直しを図り、経費削減を推進しなければなりません。また、施設の更新については、耐用年数を超える施設や管路の増加が顕著なため、優先的な箇所を特定し、経営戦略を基に計画的かつ効率的な対策を推進します。